

SURE: Shizuoka University REpository

<http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/>

Title	第 1 学年 2 組英語科学習指導案 (学習指導案)
Author(s)	西條, 秀俊
Citation	研究紀要 : 希望の未来を拓く資質・能力の育成 (2 年次) . 平成29年度, p. 87-90
Issue Date	2017-10-06
URL	http://doi.org/10.14945/00010399
Version	publisher
Rights	

This document is downloaded at: 2017-09-25T17:04:41Z

第1学年2組 英語科学習指導案

指導者 西條 秀俊

1 学習のくくり「My Precious Person」(31時間)

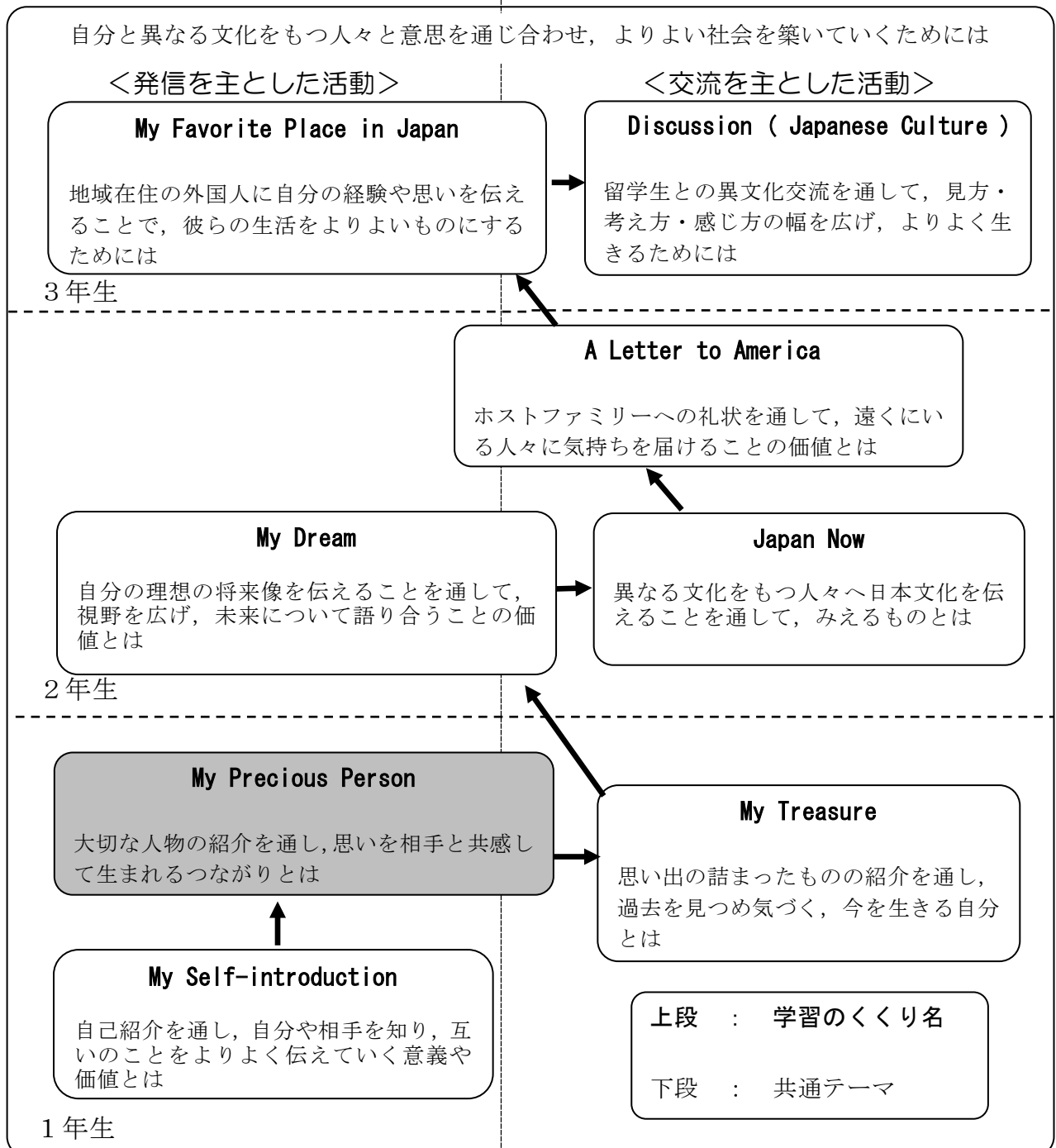
2 共通テーマを軸とした教科カリキュラムの構想図

英語科3年間でめざす姿

異文化や言語に対する興味・関心を持ち、文化やものの見方・考え方・感じ方の違いなど相手の立場を踏まえ、積極的に英語でコミュニケーションを図ることができ、その中で、人と人、国と国などの様々なかかわりあいのあり様について考え、人と人とのつながりを広げる姿勢を育む生徒

英語科3年間の共通テーマ

自分と異なる文化をもつ人々と意思を通じ合わせ、よりよい社会を築いていくためには



3 学習のくくり「My Precious Person」について

(1) 学習の構想表

学習活動 (下線部は本時の学習場面)		育成する資質・能力の要素と 階層レベル		知識		スキル			情意		
				A 内容	B 方法	C 認知	D 身体	E 社会	F 興・関	G 追究	
ガイダンス (1)	《共通テーマと共通課題の理解》 ○大切な人とは自分にとってどのような価値や重要性があるのかについて話し合い、自分なりの考えをもつ。共通テーマや共通課題を理解する。 ○自分の大切な人について語り合うためにどのようなことを学んでいけばよいかの見通しをもつ。			3		3	—		3	3	3
				4		4	—				
つかむ学習 (18)	複数形 (4)	○複数形の形や発音のしかた、使い方についてまとめたことを説明し合う。(1)			1	1	1				1
		○複数形を用いて、短いやり取りをする。(1)			2	2		2	2		
		○複数のものについての会話を聞いたり、文章を読んだりして、その内容を理解する(1) ○複数のものについて伝えたり、尋ねたりして、まとまりのあるやり取りを続ける。(1)			3		2			2	2
	疑問詞 (6)	○人称代名詞について、文中の位置によって形や意味がどのように異なるかを説明し合う。(1) ○人称代名詞を書いたり発音したりして、短いやり取りをする。(1)			1	1	1				1
		○Who, When, Where を含む会話を聞いたり、文章を読んだりして、その内容を理解する。(1) ○Who, When, Where を用いてまとまりのあるやり取りを続ける。(3)			2	2		2	2		
					3		2			2	2
	現在形 3人称単数 (8)	○3人称単数現在形の規則についてまとめたことを説明し合う。(1)			1	1			1		1
		○3人称単数現在形を含む会話を聞いたり、文章を読んだりして、その内容を理解する。(1)			2	2		2	2		
		○人について写真やイラストを用いながら紹介したり質問したりする。(本時5/6)			3		2		3	2	2
	追究する学習 (10)	《追究課題の設定》 ○これまでの学習で身につけたことをもとに、自分の大切な人をどのように紹介するかについて、共通テーマにもとづき追究課題を考える。(1)			3		3	—	3	3	3
		《追究活動》《交流活動》 ○Show & Tell の活動に向けて、自分の紹介したい人の紹介文を作成する。紹介したい人について級友から質問をしてもらったり、文法や構成、伝え方について助言し合ったりことで、自分とは異なる視点からとらえ直し、より伝わりやすいものに改善する。Show & Tell では聞き手とやり取りをしながら、その人が自分にとってどんな存在であるのかを語り合う。(9)			3		3	2	3	3	3
	つなげる学習 (2)	《振り返りの記述》《振り返りの記述の交流》 ○これまでの学習を振り返り、共通テーマに対する自己の最適解をまとめたり、仲間との交流を通して考えを深めたりする。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【期待する生徒の表れ】 ・自分の思いが伝わるように、伝える内容や英語表現を工夫して人を紹介している。 ・相手とまとまったやり取りを続けながら、自分の思いを相手と共有しようとしている。 ・Show & Tell において、話し手の問いかけに反応したり、質問をしたりしながら、積極的にかかわっている。 など </div>						
			4								

(2) 本学習のくくりでめざす生徒の姿とその姿に迫るための具体的な手だて

本学習のくくり「My Precious Person」では、自分の大切な人について、Show & Tell形式で、写真などを見せながら、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適切な表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、自分たちの思いを伝え合う力を身につけていく。前学習のくくりで行った自己紹介では、自己を見つめ直すことで、自身の長所や魅力に気づき、自己肯定観を高めることやお互いをよりよく伝えていく喜びを実感することができた。また、級友のスピーチに対して肯定的な感想を送ることで、互いに認め合うことの価値を実感することができた。本学習のくくりには、他者を尊重し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、自分の大切な人について伝え合う中で、様々な人の魅力について触れ、他者を受容し、自分の視野を広げようとする心と他者とかかわる力を身につけ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育みたい。そこで、本学習のくくりでめざす生徒の姿を次のように設定する。

- ・自分の思いが伝わるように、伝える内容や英語表現を工夫して自分の大切な人を紹介する生徒
- ・相手とやり取りをしながら、自分の思いを相手と共有しようとする生徒

本学習のくくりでは、上記のめざす生徒の姿に迫るために、次の学習活動に取り組ませる。

まず、ガイダンスでは、本学習のくくりにおいて、大切な人について、写真や実物を見せながら、聞き手とやり取りをして紹介することを説明する。その後、「大切な人」とは自分にとってどのような意味や価値、重要性があるのかや、その人について語る目的や場面などについて話し合い、学習内容の社会的意義や有用性について自分なりの考えをもたせる。そして、紹介してみたい人と伝えたいことを挙げ、どのように伝えたいかをまとめさせる。また、見通しをもって学習に取り組むことができるよう、学習計画表を示し共通テーマや共通課題を提示しながら、学習内容を確認し、今後の学習内容についておぼろげながらイメージさせる。

次に、つかむ学習では、新出文法について自分でまとめたことを説明し合ったり、質問をし合ったりすることで、文法に関する知識を身につけさせていく。また、聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、読むこと、書くことの5領域を有機的に育成するために、実際に英語を用いた言語活動で身につけた知識及び技能を活用する。複数形や疑問詞、3人称単数現在形を用いて、教科書の登場人物についてQ&Aをしたり、学年の教師について紹介したり、第三者について級友からの質問を生かして紹介文を作成したりする。そのような対話的な学びの中で、相手の思い描くことを受け止め、相手の発話に適切に応じ、仲間とのかかわりを通じて、自己の考えを広げていく。そして、学習のまとめりごとに共通テーマに対して得た考えを気づきのメモにまとめることで主体的な学びにつなげていく。追究する学習では、共通課題を受け、個人で追究課題と追究活動の計画を立て、課題に対応する力を育てつつ、共通テーマの最適解に迫らせていく。つかむ学習で身につけたことや共通テーマに対して気づいたことを生かして、自分の大切な人についての紹介文を書く。その人や紹介文に対して級友から質問を書いてもらい、自分にはない様々な視点を取り入れることで紹介文をより詳しいものにしていく。また、紹介文の内容や使っている文法や伝え方についてもペアや班でと助言し合うことで相手に正確に伝わる紹介文にしていく。そして、Show & Tellでは、相手とやり取りをしながら、自分の思いを相手と共感することをめざす。

つなげる学習では、これまでの本学習のくくりを振り返り、共通テーマに対する自分なりの考えをまとめ交流をすることで、共通テーマに対する自分の最適解を見いださせる。さらに振り返りの記述の交流から得たことを、再度、自分の考えと照らし合わせ情報を整理しながら形成し、再構築すること英語でのコミュニケーションにおける見方・考え方を深めていく。

(3) 本学習のくくりの共通テーマと共通課題

共通テーマ (本質的な問いの 階層レベル)	大切な人の紹介を通し、思いを相手と共感して生まれるつながりとは (レベル ⁴)
共通課題	自分の大切な人について伝えるために、様々な視点からとらえた紹介文を作り、聞き手とやり取りをしながら、その人が自分にとってどのような存在であるかを語り合おう。

4 本時について（本時 18 / 31）

(1) 本時の目標

【表現の能力】	人物について詳しく知るための質問を、写真や紹介文、班員の考えを参考にして、英語で書くことができる。 (A2・B2)×(C3・E3)
---------	--

(2) 学習過程

●生徒の活動 ※期待する生徒の表れ	・指導上の留意点 ○支援 ◇評価
<ul style="list-style-type: none"> ●動画に合わせて Phonics の練習をする。 ●前時までの学習内容を確認する。 ●3人称単数現在形の規則について自分でまとめたことをペアで説明し合う。 ●ワークシートにある人についての紹介文を3文程度書く。 ●本時の学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人称単数現在形を使い、教科書の人について説明や質問をしたことや、教師の紹介をしたことをスライドで確認する。 ・3人称単数現在形を使った文を正しく書くことができるように、語尾の変化と疑問文の作り方について詳しく説明するように指示する。 ・写真のイメージにとらわれてしまうことがないように、名前、年齢、出身、職業、自分との関係などの設定は自由に行うように伝える。 ○書くことが浮かばない生徒には、教科書に書かれている内容から人紹介に使えるような表現を生かすように助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">人物を詳しく知るための質問を作ろう。</div>	
<ul style="list-style-type: none"> ●班員でワークシートを交換し、班員が紹介した人についての質問をワークシートに記入する。 ●自分たちが書いた質問を比較し合い、人について詳しく知るために、どのような質問をすればいいか班で話し合う。(Strategy Discussion) ●再度班員でワークシートを交換し、班員が紹介した人についての質問をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文に関連した質問や、写真から連想されることについて質問するように指示を出す。 ○質問が浮かばない生徒には、教科書に書かれている質問やこれまでに使ったワークシートを活用したりして質問を作るように助言する。 ・自分たちの書いた質問を比べ、人について詳しく知ることができるような質問であるか考えるように指示を出す。 ・人について詳しく知るためにはどのような質問をするとよいか、既習事項を振り返って話し合うよう指示を出す。 ・自分たちの考えをワークシートに書き留めるように指示する。 ○話し合いが進まない班には、これまでに使ったワークシートから相手について詳しく知るための質問を探すようにうながす。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ※Yes/No で答えられる質問だけでなく、複数の疑問詞や3人称単数現在形を正しく用いて、人物について詳しく知ることのできる質問を書いている。 ※Strategy Discussion で話し合ったことや、これまでに使用したワークシートや教科書にある質問を活用している。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・Strategy Discussion で話し合ったことを生かして、人について詳しく質問するように指示する。 ○Yes / No で答えられる質問が多い生徒には、疑問詞を使った質問をするように助言する。 ○質問が思い浮かばない生徒には、級友が書いた質問で興味深いと思った質問を書いてもいいことを伝える。 ・既習の動詞をスライドで提示し、それらを使って質問を作るよう指示を出す。
<ul style="list-style-type: none"> ●3人称単数現在形が正しく使われているか点検する。 ●本時の学習を振り返り、共通テーマについて考えたことや気づいたことを学習計画表の「気づきのメモ」に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドで3人称単数現在形の疑問文の作り方を確認し、点検の視点を与える。 ・本学習のくくりにおける共通テーマに対してどのような気づきを得たのかを、これまでの気づきのメモを振り返りながら記入させる。
◇本時の目標について、※印のような生徒の表れが見られたか。	